

第26回Beaconユーザシンポジウム事例発表 (3/5)

時間	会場	会社名	タイトル	概要
14:20 ~ 15:05	淡海 5	株式会社 グローバルエー インフォメーション	成功するRIA (リッチクライアント)プロジェクト運営について	業務システム開発にRIA (リッチクライアント)が浸透する中、通常のWeb技術とRIA技術の違いで失敗しないためのRIAプロジェクト推進方法をその豊富な経験を基に発表します。
14:20 ~ 15:05	淡海 7	株式会社 中部プラントサービス	現場にとって本当に必要なDWHとは？ ～使い易さとセキュリティを考える～	既存DWHで発生していた課題把握と解決方法の検討、「TimeCube Retrievr」導入に至った背景、新システムの開発時における「Time Cube Retriever」の全面的な利用の推進と開発費の抑制、公開データに応じたセキュリティ制御
14:20 ~ 15:05	淡海 9	アリスタ ライフサイエンス 株式会社	経営のグローバル化とアジア8拠点をカバーする最適データマネジメント ～費用対効果最大化を目指し3ヶ月での導入を実現～	SAP (R/3)とSalesforceという既存プラットフォームのデータ連携を図り、システムの統一ではない合理的ソリューションによりグローバルデータベースを構築。ROIの最大化を目指しつつ、スピード感を高めた導入プロセスをご紹介します。
15:30 ~ 16:15	淡海 5	新日鉱IT株式会社	IT全般統制DB/OSアクセスログ収集分析環境構築 ～DB/OSログ収集を2ヶ月で整備～	会計システム・固定資産管理システムをIT全般統制の対象とし、アクセス権管理の統制としてDB/OSアクセスログ収集分析環境の構築を行った。特に収集環境については、年度の初めのログを収集したく、プロジェクトの開始から約3ヶ月、プログラミング無しで実現した。現在は分析レポートの出力環境も整い、各システムのDB/OSアクセス状況の監査業務の効率化に大いに貢献できた。
15:30 ~ 16:15	淡海 7	株式会社メイテツコム	基幹帳票システムのマイグレーション ～メインフレームからの脱却、オープン化への挑戦～	メインフレーム基幹システムをオープンシステムへダウンサイジングした。帳票システムのマイグレーションも実施し、サービスレベルアップを図りながら行なえたポイントを発表。また、オープン化の今後の展開も帳票作成をポイントに置き発表する。
15:30 ~ 16:15	淡海 9	いすゞシステムサービス 株式会社	運用サービス部門における意識改革と品質向上 ～会員制サービス「シスドック」アドバイス活動からの展開～	運用サービス部門の重点課題である「運用品質向上活動」を中心とした活動内容について、参加メンバーの意識改革によるチーム力の向上、および、IT全般統制に絡んだ業務プロセスの改善やログ(証跡)管理のシステム構築など具体的な成果について発表します。
16:50 ~ 17:35	淡海 5	国分株式会社	LMIS導入によるITサービスの向上と運用の品質改善	LMIS導入により、各部門で別々に管理されていたインシデント問題・変更・構成管理などの情報を関連付けて管理できるようにすることで適正なコストで最大の効果が上がるような問題分析をして、運用の品質改善とITサービスの向上を行う。
16:50 ~ 17:35	淡海 7	サッポロビール株式会社	Xuras Workflow による業務処理統制の実現 ～ Notes撤廃を乗り越える～	ノーツのアプリケーションの便利さ・開発容易性に対して、ITの課題は何だったのか。これらを紐解き、今求められるITへの要求に照し合せ、グループウェアを中心としたアプリケーション開発のあり方を、Xuras Workflowを中核に、サッポロビールが考えるアプリケーション開発基盤をご紹介します。
16:50 ~ 17:35	淡海 9	東洋アルミニウム 株式会社	Loganizerを利用した「統合ログ管理」の構築事例	東洋アルミニウム(株)では、メインフレーム上のシステムログ、ジョブログをオープン環境で管理できるようにすることで、ログの可用性を向上させました。また、オープン環境のログにおける保全・保管だけではなく、積極的なログ活用をご紹介します。